

冬季における給湯機器の破損・故障の予防に関する注意喚起

～寒波による配管の凍結、積雪による排気口閉塞予防のお願い～

湯まわり設備メーカーの(株)ノーリツ（本社：神戸市、代表取締役社長：腹巻知、資本金：201億円、東証一部上場）は、公式サイト「季節にご注意いただきたいこと一覧」で（<https://www.noritz.co.jp/aftersupport/careful/>）、寒波による配管の凍結や、積雪による排気口閉塞などが原因となる給湯機器の破損・故障を予防する注意喚起を行っています。

冬季は気温・水温が下がるため、例年、給湯機器の破損・故障が夏季と比較して約3割多く発生し、これらに起因した取替えが多くなります。破損・故障にご注意いただくため、予防措置の具体的な内容をご紹介します。

公式サイト「季節にご注意いただきたいこと一覧」>「寒波・凍結・積雪の場合」
（https://www.noritz.co.jp/aftersupport/disaster/cold_wave.html）より
冬季における給湯機器の破損・故障の予防・対処方法

安全上の重要注意事項



①寒波の予報がたら

おふろの給湯栓からごく少量のお水を出しっぱなしにしておいてください。
追いき付ふろがまの場合は浴槽に残り湯を残したままにしておいてください。



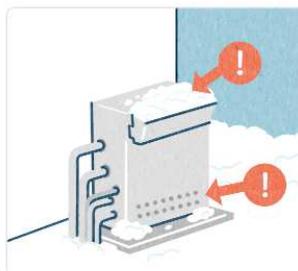
②給湯機器の電源プラグは抜かない

給湯機器は外気温がある程度下がると凍結予防の安全装置が自動的に作動し、機器本体の凍結を予防します。（水抜きした場合は除く）



③凍結してしまったら

外気温が上がり自然に解凍するまでお待ちください。
給湯機器や配管を温めるために熱湯をかけるのはお止めください。機器や配管が破裂する恐れがあります。



④雪が降り積もったら

給湯機器の給気・排気口や排気筒に積もった雪を取り除いてください。
不完全燃焼や異常着火が発生し、事故や故障の原因となります。

※給湯機器を使用中や使用後しばらくは排気口付近、排気カバー付近が高温になっていますので注意してください。